

NAVIGATION

— 進路指導部便り —

第20号 平成29年10月11日

70回生センター試験まであと94日!

夢野台高等学校
進路指導部

70回生センター試験 平成30年度(現3年生が受験)センター試験の出願が終わりました。センター試験は毎年、1月13日以降の最初の土曜日・日曜日に実施されますが、出願は前年の9月末から10月初旬にかけて行います。本校では9月25日までにに願に必要な志願票を作成し、9月26日に願を済ませました。

センター試験出願者数等の過年度比較

回生	出願者数	センター試験現役出願率 (%)		
		本校	全国	兵庫県
70回生	241人	86.7	(未確定)	(未確定)
69回生	259人	94.5	43.9	46.1
68回生	251人	90.9	43.4	44.2
67回生	198人	84.6	42.5	43.9
66回生	204人	85.0	42.1	42.9
65回生	193人	80.8	42.1	43.4
64回生	196人	83.1	41.5	43.2
63回生	238人	85.6	41.5	43.4
62回生	196人	82.4	41.1	43.0
61回生	188人	79.7	40.5	42.7
60回生	164人	69.2	39.3	41.9

過去3番目の出願率に
70回生で出願をしたのは241人で、これは全体の86.7%にあたります。これまでで3番目に多い出願率になりました。

国公立大学の入学者選抜は、センター試験の結果と、各大学が個別に実施する個別学力試験(いわゆる2次試験)の結果を総合して行われます。したがって、国公立大学を志望する人にとっ

ては、センター試験は第1の関門になります。

私大センター試験利用の背景

また、近年では私立大学でも、一部の定員をセンター試験の成績で選抜するケースが増加しています。これは、センター試験利用入試での入学者の学力が高いことに配慮したもので、国公立大学との併願組~より多くの教科・科目の学習履歴を有する高校生~を選抜したいという大学の思惑が反映しています。さらに、センター試験の成績が高ければ、入学金や授業料の減免が行われるなどの措置も、多くの私立大学で実施されるようになってきました。

国公立大学の合格は原則1回

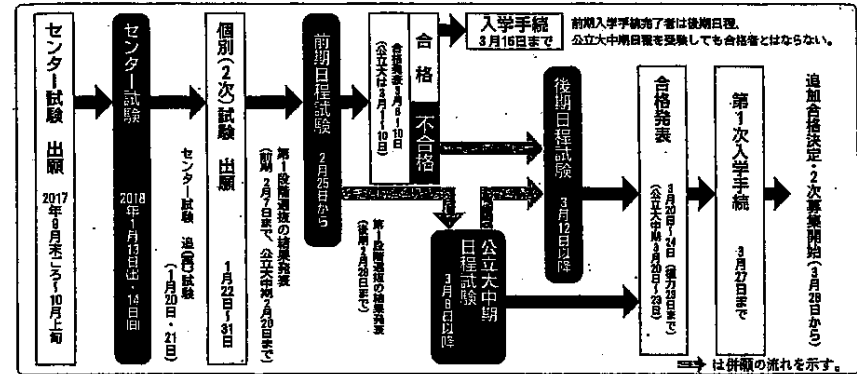
平成30年度のセンター試験は、来年の1月13日、14日の両日にわたって実施されます。日程上、もっとも早い時期の実施になりますが、その分、個別学力試験(前期2/25、中期3/8、後期3/12)までの日数はずっと長くなります。国公立大学への出願は、センター試験終了後の1月22日~1月31日の間に行います。前期・中期・後期のどの日程とも、この間が出願期間です。

前期日程試験での合格発表は3月10日までに、前期で合格をして入学手続きをした

人は、後期日程・中期日程試験を受験しても合格者にはなりません。このように、国公立大学の入試で合格できるのは1回だけ、というのが原則です。唯一の例外は、中期日程と後期日程試験の両方で合格できることです。その場合のみ、合格した複数の大学・学部から入学する大学・学部を選択できることになります。

ただ、このセンター試験の実施を前提にした国公立大学の入学者選抜の方法は、現在の高校1年生までで、平成33年1月から、「共通テスト」という新しい制度のもとでの実施が予定されています。

平成30(2018)年度 国公立大入試の主なスケジュール



(注)前期日程と後期日程は、それぞれ別に募集人員が設定され、試験から入学手続まで別々に実施される。これを「分離分割方式」という。両日程の合格発表を見届けてから入学先を選ぶことはできない。

10月19日に大学教員の2年生の総合的な学習の時間の一環として、大学の先生を招いて、模擬講義を実施して、模擬講義を実施します。毎年、この時期に実施している行事で、こしは9つの国公立大学から9人の先生方をお招きして行います。10月19日の6時間目、7時間目の時間帯での実施で、生徒は各自の興味・関心に応じて、希望の講座を受講します。10月24日は大学を訪問します。2年生にとっては、まさしく「学問の秋」です。

実施予定講座一覧 (先生方のお名前五十音順)

大学名	学部名	講師のお名前
龍谷大学	農学部	石原 健吾 先生
徳島大学	薬学部	田中 秀治 先生
兵庫県立大学	経営学部	當間 克雄 先生
関西学院大学	理工学部環境・応用化学科	壺井 基裕 先生
神戸女学院大学	文学部	難波江和英先生
流通科学大学	人間社会学部	西尾 範博 先生
神戸海星女子学院大学	現代人間学部	福智佳代子先生
兵庫医療大学	リハビリテーション学部	藤岡 宏幸 先生
同志社大学	生命医科学部医工学科	森田 有亮 先生